

屋 財 第 55 号
平成 29 年 5 月 19 日

九州運輸局 鹿児島運輸支局
首席海事技術専門官 殿

鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田 469 番地 45
鹿児島県屋久島町
屋久島町長 荒木 耕治



「フェリー太陽」機関継続検査について

本町所有船の表記、旅客船兼自動車渡船について、検査の特例（船舶検査の方法 S 編 1・2 に定める継続検査）の承認を受けたいので下記資料を添えて申請いたします。

記

1. 継続検査計画書
2. 機関保守整備現状報告書
3. 機関保守基準表（主機関・補機関）
4. 船舶検査手帳（写し）
5. 船舶件名表（写し）
6. 機関要目表（写し）

承認する
平成 29 年 5 月 24 日
九州運輸局鹿児島運輸支局
首席海事技術専門官



機関継続検査計画表

《フェリー太陽》

受検項目内容		検査年次	(平成 30 年) 第一種中間	(平成 31 年) 第一種中間	(平成 32 年) 第一種中間	(平成 33 年) 定期検査	(平成 34 年) 第一種中間
主機関(右舷機)	No. 1 シリンダー	○					
	No. 2 シリンダー	○					
	No. 3 シリンダー		○				
	No. 4 シリンダー			○			
	No. 5 シリンダー				○		
	No. 6 シリンダー					○	
※クラシク主軸受けメタル解放	No. 1-No. 7 メタル	No. 1・2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6・7	
主機関(左舷機)	No. 1 シリンダー						○
	No. 2 シリンダー				○		
	No. 3 シリンダー			○			
	No. 4 シリンダー		○				
	No. 5 シリンダー		○				
	No. 6 シリンダー	○					
※クラシク主軸受けメタル解放	No. 1-No. 7 メタル	No. 7	No. 5・6	No. 4	No. 3	No. 1・2	
※排気タービン過給機 (インタークーラー含む)	右 舷 機	○		○			○
	左 舷 機		○		○		
主機関付 ※清水ポンプ	右 舷 機	○		○			○
	左 舷 機		○		○		
属機器類 ※潤滑油ポンプ	右 舷 機			○			
	左 舷 機				○		
動力伝達装置※(減速逆転機・ 機付潤滑油ポンプ・潤滑油冷却器)	右 舷 機	☆	☆	☆	○		
	左 舷 機	☆		☆	☆	○	
※弾性ゴム継手	右 舷 機				○		
	左 舷 機		○				
※中間軸受メタル解放	右 舷 機	○		○		○	
	左 舷 機		○		○		

機 関 繼 続 検 査 計 画 表

《フェリー太陽》

受検項目内容	検査年次	(平成 30 年)	(平成 31 年)	(平成 32 年)	(平成 33 年)	(平成 34 年)
		第一種中間	第一種中間	第一種中間	定期検査	第一種中間
※発電機関駆動用補助機関開放(付属ポンプ類含む)	右舷機	○		○		○
	左舷機		○		○	
※主空気圧縮機開放	2 台	No. 1	No. 2	No. 1	No. 2	No. 1
※非常用空気圧縮機開放	1 台			○		
※主空気槽開放	2 基				○	
※補助空気槽開放	1 基				○	
※主機冷却海水ポンプ開放	両舷機	右舷機	左舷機	右舷機	左舷機	右舷機
※主機予備冷却清水ポンプ開放	1 台			○		
※主機予備潤滑油ポンプ開放	2 台	○(No. 1)		○(No. 2)		
※減速機予備潤滑油ポンプ開放	1 台			○		
※燃料油移送ポンプ開放	2 台	○(No. 1)		○(No. 2)		
※潤滑油移送ポンプ開放	1 台			○		
※ピストン兼ハラストポンプ開放	1 台		○		○	
※消防・雑用兼ピストンポンプ開放	1 台	○		○		○

(備考)

○印：開放検査受検

☆印：減速逆転機をピープホールにて確認

1. 開放検査はカラーチェック等の非破壊検査を実施する。
2. クランク軸のデフレクション計測を実施する。
3. 本計画書に記載なき機器は、定期及び中間検査のとおりとする。
4. ピストンピンを取り外し、ピストンとロッドは分解の状態で受検する。

(注)開放受検項目に異常があれば、官海官庁の指示に伴うものとする。

平成29年5月19日

九州運輸局 鹿児島運輸支局
首席海事技術専門官 殿

鹿児島県屋久島町

船名 フェリー太陽

機関長 中嶋 洋樹



主機関及び補機関の保守整備と現状報告

時下、ますますのご健勝のこととお喜び申し上げます。

かねてより、本町船舶事業の運営に格段のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、屋久島町営船「フェリー太陽」は平成9年6月に就航以来、安全運航に細心の注意を払いながら事業を展開しているところです。

屋久島（宮之浦港）を起点として口永良部島、種子島（島間港）に就航している旅客船兼自動車渡船であり、所要時間は宮之浦～口永良部間が1時間40分、宮之浦～島間間が1時間05分で1日1往復の運航を致しております。

主機関の運転状況としましては、稼働時間が1日約8時間で、規定回転数は720rpmに対しまして現状では680rpm、負荷率85%で主機関としましては大変良好な状態で運転しております。

本船の主機関及び補機関の保守現状についてご報告申し上げます。

主機関及び補機関、その他付属機器の点検整備は、航海中又は停泊港である宮之浦港において次のとおり、定期的に点検・整備を実施しております。

(1) 主機関の運転中においては、定期的に温度・圧力等の計測記録を行い、指圧図を採取し、燃焼状態及び燃料ポンプの作動状況などを確認し、又補機関においても主機関同様、温度・圧力等の計測記録を実施し、機関の良好なる運転に努めています。

(2) 過給機・インタークーラー等は、常に給気圧及び各部の温度を確認し、定期的にプロワ側の洗浄液による洗浄やドレンの排出を実施するなど機関の完全燃焼に努めています。

(3) 現在使用中の潤滑油管理等は、約1,000時間毎にメーカーにサンプルを送り、適切な管理を行っております。

- (4) 各機器及びポンプ類等は、軸受の温度や回転音などを運転中に作業状況を確認し、常に良好な状態を保っております。
- (5) 各機器の配管等は、航海中において定期的に点検を行い、特に海水管等に設けてあるダメージ管用の防蝕保護亜鉛は、300時間毎に開放点検清掃を行い700時間にて交換をしております。
- (6) 主機関及び補機関、その他のポンプ類の各フェルター等は、定期的に点検清掃を250時間毎に行い、不純物の混入その他異常の有無を確認しております。
- (7) 主機関をはじめとし、各機器類のボルト・ナット類の弛み等は航海中に点検し、常に事故防止に努めております。
- (8) 減速機等は、クラッチの嵌合時間及び音響等をチェックし、並びに計器類の確認をするなど、常に事故防止に努めております。
- (9) 機関室の清掃は常に行い、又各予備品の点検管理も日頃より実施しており、予備品リストの確認についても行っております。

上記のように主機関・補機関並びに付属機器に関しては、定期的な点検と整備を行い、メーカーから指示されている点検整備表を基準として実施し、安全運転に努めております。

以上、主機関・補機関並びに付属機器の点検整備と管理は十分行っており、現在まで運航に支障なく運転されていることをご報告申し上げます。

主機関保守整備基準表

鹿児島県屋久島町
船名 フェリー太陽

[主機関関係]

点検項目	点検内容	毎日	200h	300h	700h	1000h	入渠毎
※(燃料油系統)							
燃料油タンク	タンク油量確認・ドレン抜き	○					
燃料油タンク	ドレン抜き励行		○				
燃料油濾過器	ゲージ圧力確認	○					
燃料油濾過器清掃	点検清掃		○				
燃料噴射弁	燃焼状況確認・最高圧力採取		○				
燃料噴射ポンプ	ラック関係作動状況確認	○					
燃料フェルトポンプ	ゲージ圧力確認・外観点検	○					
燃料配管	各継手部の漏油点検確認	○					
※(潤滑油系統)							
潤滑油ポンプ	ゲージ圧力・油漏れ確認	○					
クランク室油量	油量点検確認	○					
冷却油タンク油量	油量点検確認	○					
潤滑油濾過器	圧力差確認	○					
潤滑油濾過器清掃	点検清掃			○			
潤滑油C·J·C	内部フィルター交換						◎
潤滑油冷却器	温度差確認	○					
潤滑油配管	各継手部の漏油点検確認	○					
※(冷却海水系統)							
海水ポンプ	ゲージ圧・シール部漏水確認	○					
海水機器配管	配管・継手部の漏水確認	○					
海水コル器	コル器点検清掃		○				
防蝕亜鉛	防蝕亜鉛取付部開放点検・交換					◎	

[主機関係]

点検項目	点検内容	毎日	200 h	300 h	700 h	1000 h	入渠毎
※(冷却清水系統)							
清水ポンプ	ゲージ圧・シール部漏水確認	○					
清水機器配管	配管・継手部の漏水確認	○					
清水膨張ポンプ	清水量点検	○					
清水膨張タンク	清水タンク点検清掃交換						◎
清水冷却器	温度差確認・外観点検	○					
清水温度調節弁	調節弁分解点検掃除						○
※(始動空気系統)							
パイロット弁	始動毎点検	○					
配管各部	継手より空気漏れ点検	○					
始動空気タンク	ゲージ圧力確認・ドレン排出	○					
※(シリンダーヘッド)							
動弁装置	各運動部・各部の弛み点検		○				
※(過給機系統)							
プロテクター	交換清掃		◎				
軸受注油圧力	ゲージ圧力確認	○					
給気圧力	ゲージ圧力・温度確認	○					
※(調速機装置系統)							
調速機	作動油量確認	○					
調速機	作動油交換					◎	
調速機リンク	運動部注油・点検	○					
※(機関回転計系統)							
機関室・操舵室	機関室・操舵室回転計指度確認	○					
※(機関外観)							
各部取付箇所	ボルト・ナット・他・点検確認	○					

[主機 關 係]

※ ○印は点検確認、清掃を示す。

※ ◎印は点検清掃、交換を示す。

補機関保守整備基準表

鹿児島県屋久島町
船名 フェリー太陽

[補機関関係]

点検項目	点検内容	毎日	200h	300h	700h	1000h	入渠毎
※(燃料油系統)							
燃料油エレメント	エレメント交換				◎		
油水分離機	ドレン点検排出	○					
※(潤滑油系統)							
クランク室油量	油量点検確認	○					
潤滑油エレメント	エレメント交換				◎		
潤滑油	オイル交換					◎	
※(冷却海水系統)							
冷却水ポンプ	外観部漏水点検	○					
保護亜鉛	点検清掃・交換				◎		
海水パイプ	継手・管の漏水点検	○					
※(冷却清水系統)							
清水ポンプ	外観部漏水点検	○					
清水膨張タンク	水量点検	○					
清水膨張タンク	交換						◎
清水パイプ	継手部漏水点検	○					
※(燃料ポンプ系統)							
フィールドポンプ	外観部漏油点検	○					
燃料噴射弁	燃焼状態確認	○					
※(シリングーヘッド)							
動弁装置	各運動部・弛み点検		○				
※(過給機系統)							
プロワルター	交換清掃		◎				

[補機関係]

点検項目	点検内容	毎日	200h	300h	700h	1000h	入渠毎
各接続部	ガス漏れ点検	○					
マニホールド	ドレン排出	○					
※(各配管系統)							
海水ポンプ	点検清掃・亜鉛交換				◎		
※(保護亜鉛)							
各海水廻り	取外し点検・交換			◎			
※(計器盤系統)							
各ゲージ	作動状況確認	○					
※(予備ポンプ系統)							
燃料ポンプ	作動状況点検確認	○					
燃料油ポンプ	作動状況点検確認	○					
清水ポンプ	作動状況点検確認	○					
海水ポンプ	作動状況点検確認	○					
雑用ポンプ	作動状況点検確認	○					
※(圧縮機系統)							
クランク室	油量点検	○					
クランク室	オイル交換					◎	
※(遠隔操作系統)							
機関室・操舵室	作動状況・表示灯・点検確認	○					
※(油水分離器系統)			○				
油水分離	通水テスト運転						
油水分離ポンプ	ポンプ運転テスト		○				
※(サービスポンプ系統)							
サニタリーポンプ	ゲージ圧力・空気圧力確認	○					
清水サービス	ゲージ圧力・空気圧力確認	○					

[補 機 関 関 係]

※ ○印は点検確認、清掃を示す。

※ ◎印は点検清掃、交換を示す。